

岩国市立美和東小学校の児童がクリスマスリースを製作

令和5年12月6日(水)に岩国市立美和東小学校において、美和東小学校の3年生9名と4年生9名が「森林体験学習」として林産物を活用したクリスマスリースを製作しました。

これは、次代を担う子どもたちに、ふるさとの森林の大切さや林業の重要性を体感し、理解を深めてもらうために、林業研究グループ「美和町女性林業研究会」(会長:長峯里子)が指導したものです。

はじめに、長峯会長から、森林のお話として「森林の手入れが十分行き届いておらず、森林の持つ様々な機能が発揮できていない。きちんと手入れをすることや林産物を活用することなどが必要」とのお話があり、児童たちは真剣な表情で聞いていました。

続いては、お楽しみのクリスマスリースづくりです。ぐるりと輪にしたカズラに、どんぐりや松ぼっくり、ヒノキの葉などの林産物や、リボン、ビーズなどの飾りをボンドでつけていきます。最初は黙々と作っていた児童たちでしたが、徐々にリースが出来上がってくると、お互い見せあって「それどうやってつけたの?」「これすごいでしょ!」と教室は楽しい声でいっぱいになりました。約1時間かけて、児童たちの工夫やセンスがたくさん詰まったクリスマスリースが完成しました。

児童たちは、森の恵みに触れながら楽しい体験をすることができました。



飾りの色やバランスを考えながら製作中



リース完成! みんなどこに飾るのかな?